

各高等教育機関における令和8年3月新規学卒者の就職内定状況（総計）

年度	卒業者数			就職希望者数 (a)	就職内定者数 (b)			就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	2,670人	1,503人 (56.3%)	1,167人 (43.7%)	2,042人	1,985人	811人 (40.9%)	1,174人 (59.1%)	97.2%
令和6年度 (R7.3月卒)	2,549人	1,452人 (57.0%)	1,097人 (43.0%)	1,953人	1,908人	765人 (40.1%)	1,143人 (59.9%)	97.7%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R7.12月末時点	2,561人	1,421人 (55.5%)	1,140人 (44.5%)	1,629人	1,414人	542人 (38.3%)	872人 (61.7%)	86.8%

【留意事項】

- ・いわてで働く推進協議会の構成団体である高等教育機関の就職内定状況を合計した数値であるもの。
- ・令和5、6年度は確定値、令和7年度は令和7年12月末時点の数値であるもの。

各高等教育機関における令和8年3月新規学卒者の就職内定状況（岩手大学）

年度	卒業者数			就職 希望者数 (a)	就職 内定者数 (b)			就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	1,050人	396人 (37.7%)	654人 (62.3%)	649人	623人	196人 (31.5%)	427人 (68.5%)	96.0%
令和6年度 (R7.3月卒)	1,000人	383人 (38.3%)	617人 (61.7%)	627人	599人	172人 (28.7%)	427人 (71.3%)	95.5%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R7.12月末時点	1,068人	398人 (37.3%)	670人 (62.7%)	418人	404人	131人 (32.4%)	273人 (67.6%)	96.7%

【分析】

- ・東北圏内就職率推移 R5年度：60.5%、R6年度：55.8%、R7年度：58.9%
- ・東京都就職率推移 R5年度：19.3%、R6年度：20.7%、R7年度：21.0%
- ・R7年度の進路状況調査（R7.12.25現在の提出率57.8%）を基に算出
- ・昨年度30%を切っていた県内就職率の割合は、現時点で30%を超えており、東京都への就職率は年々増加傾向にあり、就職活動開始時期も早まっている傾向がある。進路に関するアンケートでは、就職先を決める際に重視するポイントは、「やりたいことができること」が一番にあげられており、県外に勤務する理由についても「やりたいことができる環境」があげられていることから、待遇面等の条件以外でも学生が魅力を感じられる企業づくりをお願いしたい。

各高等教育機関における令和8年3月新規学卒者の就職内定状況（岩手県立大学）

年度	卒業者数			就職 希望者数 (a)	就職 内定者数 (b)			就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	663人	426人 (64.3%)	237人 (35.7%)	564人	551人	237人 (43.0%)	314人 (57.0%)	97.7%
令和6年度 (R7.3月卒)	642人	436人 (67.9%)	206人 (32.1%)	534人	522人	243人 (46.6%)	279人 (53.4%)	97.8%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R7.12月末時点	650人	423人 (65.1%)	227人 (34.9%)	515人	430人	156人 (36.3%)	274人 (63.7%)	83.5%

【分析】

- 令和8年3月卒については、令和7年12月末時点で就職率は前年同月比で1.6 p 減、県内就職率は前年同月比で4.1 p 減となっている。県内就職率が前年を下回っている要因として、県外企業からの求人が引き続き旺盛であることのほか、一部の県内企業において原材料高騰等を理由とした撤退が見られること等、影響している可能性がある。
- 学生の傾向としては、4大の場合、3年生の秋から冬にかけて本格的に始動し、就職情報サイトで情報を入手しながら活動するケースが多い。また、アンケート結果から就職に当たり重視するものとして、やりがい、賃金・給与、労働日数・時間をあげた学生が多くいた。
- 県内就職率の向上については、引き続き県内企業に対する理解促進を図る機会を創出するとともに、企業の魅力や労働環境の向上の取組みを通じて、学生に選ばれるための取り組みが必要と考えている。

各高等教育機関における令和 8 年 3 月新規学卒者の就職内定状況（岩手保健医療大学）

年度	卒業者数	県内出身 (割合)	県外出身 (割合)	就職 希望者数 (a)	就職 内定者数 (b)	県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	就職率 (b/a)
令和 5 年度 (R6.3月卒)	81人	67人 (82.7%)	14人 (17.3%)	76人	76人	43人 (56.6%)	33人 (43.4%)	100%
令和 6 年度 (R7.3月卒)	77人	57人 (74.0%)	20人 (26.0%)	75人	75人	23人 (30.7%)	52人 (69.3%)	100%
令和 7 年度 (R8.3月卒) ※R7.12月末時点	47人	32人 (68.1%)	15人 (31.9%)	47人	44人	22人 (50.0%)	22人 (50.0%)	93.6%

【分析】

- ・本年度の県内内定者は 5 割まで回復した。地元志向が強い学年であったため、県内情報を重点的に周知した。
- ・就職活動の開始は 3 年前期から始める割合が最も多い。就職先の決め手として、これまで「給与や福利厚生等の待遇面」「教育体制・研修体制の充実」いずれかが首位を占めていたが、職場見学やインターンシップに積極的に参加するよう指導してきたこともあり「職場の雰囲気が良い」が高い傾向になった。数ある情報の中でも現地に赴き、五感を活かした情報を頼りに決めるよう変化していることが窺える。

各高等教育機関における令和8年3月新規学卒者の就職内定状況（富士大学）

年度	卒業者数			就職 希望者数 (a)	就職 内定者数 (b)			就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	208人	74人 (35.6%)	134人 (64.4%)	201人	191人	44人 (23.0%)	147人 (76.9%)	95.0%
令和6年度 (R7.3月卒)	188人	63人 (33.5%)	125人 (66.5%)	182人	182人	46人 (25.3%)	136人 (74.2%)	100.0%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R7.12月末時点	146人	56人 (38.4%)	90人 (61.6%)	141人	116人	36人 (31.0%)	80人 (68.9%)	82.3%

【分析】

- ・昨年度（令和6年度）については、12月末時点で岩手県内への就職が確定していた学生数は27名です。その後、勤務地の明確化が進んだことなどにより3月末までに46名となりました。今年度（令和7年度）については、これまでに36名です。本学では卒業予定者数が昨年度より減少により、就職者数も減少していますが岩手県内への就職割合は増加傾向です。
- ・学生の就職活動開始時期は早期化していますが、長期化の傾向もあります。企業情報入手方法は就職支援サイト、本学キャリアセンターからの情報提供、企業・団体説明会（対面やWEB）、就職サポート企業の活用など幅広い状況です。キャリアセンターに相談依頼がある学生が重視している内容については、組織や業種、職種以外では勤務地、休日日数、給与などです。

各高等教育機関における令和8年3月新規学卒者の就職内定状況（盛岡大学（文学部・栄養科学部））

年度	卒業者数			就職希望者数 (a)	就職内定者数 (b)			就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	390人	302人 (77.4%)	88人 (22.6%)	369人	361人	208人 (57.6%)	153人 (42.4%)	97.8%
令和6年度 (R7.3月卒)	375人	280人 (74.7%)	95人 (25.3%)	350人	347人	208人 (59.9%)	139人 (40.1%)	99.1%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R7.12月末時点	411人	316人 (76.9%)	95人 (23.1%)	353人	282人	142人 (50.4%)	140人 (49.6%)	79.9 %

【分析】

今回データは、一見すると学生の県内就職割合が、前年度、前々年度に比してポイントが下がったように見える。しかし、集計はR7.12末時点によるものであり、この時期は内定状態で配属が知らされていない（決まっていない）学生が多いため、その者たちの勤務地は本社機能を持っているオフィスの所在地で集計されている。当該数値は、ほぼその影響によるものと考えられる。データは、飽くまでも中途であることをご理解いただきたい。

大卒新卒採用の現場では、事業所等の採用選考活動の時期が早まってきている。所謂「早期化」と呼ばれるものであるが、大学3年の夏のインターンシップ参加学生に対し、早期選考を案内する企業もあり、大学3年の10月頃に内々定を持つ学生も珍しくなくなった。

学生の就職活動関係の情報源の多くは、就活支援サイトをはじめとするインターネットによるものと想定される。裏を返せば学生の大部分が、そのような情報でしか就活をしていないということである。売り手市場と呼ばれる近年の採用市場における事業所等にあっては、言うまでもなくイマドキの就活生の習性、特徴をつかみ、合わせ寄添う形による採用活動がマストであろう。

各高等教育機関における令和8年3月新規学卒者の就職内定状況（盛岡大学（短期大学部））

年度	卒業者数			就職 希望者数 (a)	就職 内定者数 (b)			就職率 (b/a)
		県内出身 (割合)	県外出身 (割合)			県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	
令和5年度 (R6.3月卒)	94人	84人 (89.4%)	10人 (10.6%)	78人	78人	54人 (69.2%)	24人 (30.8%)	100%
令和6年度 (R7.3月卒)	73人	71人 (97.3%)	2人 (2.7%)	64人	64人	47人 (73.4%)	17人 (26.6%)	100%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R7.12月末時点	52人	46人 (88.5%)	6人 (11.5%)	47人	39人	28人 (71.8%)	11人 (28.2%)	83.0 %

【分析】

本学卒業生の県内就職率は、今回データ（R7.12末時点集計）で例年並みの70%前半である。中途ではあるが、大きな変動はないと思われる。例年、就職希望者の90%以上が資格職（専門職）である保育関係に進み、その勤務地の70%程度が岩手県内である。採用市場全体が、人手不足、早期選考、エージェント、ダイレクトリクルーティング等様々な波に揉まれる中、岩手県内の保育関係の求人については、依然秋口がスタートである。本学はここ数年来100%の就職率は維持しているものの、大卒新卒の採用現場の様子が騒々しい今日においては、老婆心ながら採用側（保育園等）の人材確保の面で何らかの影響が出る可能性が大きいように思われる。

つまり、早期化がさらに進展し常態化した時、このままだと関東の株式会社立の保育園等のみならず、一般企業等への志望が増え、地元園の求人が間に合わない事態が危惧されるということである。

いずれ少子化は進み、今後の保育関係の求人自体についても不安は募る。いわてで働く推進協議会におかれでは、県内事業所等に対し、待遇面の改善は言うまでもなく加えて人員（人材）確保のための採用計画の必要性を説き、その企画立案の勧奨並び関連情報の提供等について主導していただきたいと思料するものである。

各高等教育機関における令和8年3月新規学卒者の就職内定状況（修紅短期大学）

年度	卒業者数	県内出身 (割合)	県外出身 (割合)	就職 希望者数 (a)	就職 内定者数 (b)	県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	就職率 (b/a)
令和5年度 (R6.3月卒)	30人	23人 (76.7%)	7人 (23.3%)	29人	29人	18人 (62.1%)	11人 (37.9%)	100%
令和6年度 (R7.3月卒)	30人	23人 (76.7%)	7人 (23.3%)	30人	28人	16人 (57.1%)	12人 (42.9%)	93.3%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R7.12月末時点	25人	21人 (84.0%)	4人 (16.0%)	25人	18人	13人 (72.2%)	5人 (27.8%)	72%

【分析】

- ・保育士養成校であるため、保育士に対する求人は多数あり、就職状況そのものは変わりがない。
- ただし、地域の一部の保育所等では、少子化が今後さらに進展することを踏まえ、採用を控えるとする声が一部で聞かれるようになった。首都圏からの求人要請はさらに増しており、人材の県内定着の声掛けなどに注力していきたい。

各高等教育機関における令和8年3月新規学卒者の就職内定状況（一関工業高等専門学校）

年度	卒業者数	県内出身 (割合)	県外出身 (割合)	就職 希望者数 (a)	就職 内定者数 (b)	県内就職 (割合)	県外就職 (割合)	就職率 (b/a)
令和5年度 (R6.3月卒)	154人	131人 (85.1%)	23人 (14.9%)	76人	76人	11人 (14.5%)	65人 (85.5%)	100%
令和6年度 (R7.3月卒)	164人	139人 (84.8%)	25人 (15.2%)	91人	91人	10人 (11.0%)	81人 (89.0%)	100%
令和7年度 (R8.3月卒) ※R7.12月末時点	162人	129人 (79.6%)	33人 (20.4%)	83人	81人	14人 (17.3%)	67人 (82.7%)	97.5%

【分析】

- ・ 今年度については就職と進学がほぼ半々であった（未定学生が数名残っている状況）
- ・ 県内就職率については、昨年度に比べて若干改善 (+6.3ポイント) が見られたが、地域企業周知の効果が出てきたことや、進学から就職に切り替えた学生が地域企業を主に選択したことによるものと考えられる
- ・ 学生の傾向として、インターンシップの内容や見学等の経験が就職への大きな後押しになっている。時期については早期選考（1月～）などの事例が少しづつ増えているが、学校としては学修への影響が懸念される
- ・ 県内就職率の向上に向けては、低学年からの地域企業を知りその強味を理解する等の機会創出をさらに目指したい

資料2

(参考) 令和8年3月新規学校卒業予定者の就職内定状況について(12月末日現在)

	区分	卒業予定者数	就職内定者(全体)						就職内定者(県内)						県内就職内定者割合(④/②)	
			求職者数①		内定者数②		内定率		求職者③		内定者数④		内定率		12月末	(確定値)
			12月末	(確定値)	12月末	(確定値)	12月末	(確定値)	12月末	(確定値)	12月末	(確定値)	12月末	(確定値)	12月末	(確定値)
高等学校	R8.3卒	9,686人	2,034人	-	1,899人	-	93.4%	-	1,438人	-	1,316人	-	91.5%	-	69.3%	-
	R7.3卒	9,979人	2,086人	2,058人	1,959人	2,058人	93.9%	100%	1,457人	1,458人	1,369人	1,458人	94.0%	100%	69.9%	70.8%
	前年同期比	▲293人	▲52人	-	▲60人	-	▲0.5P	-	▲19人	-	▲53人	-	▲2.5P	-	▲0.6P	-
大学	R8.3卒	2,510人	1,530人	-	1,330人	-	86.9%	-	631人	-	515人	-	81.6%	-	38.7%	-
	R7.3卒	2,616人	1,720人	1,922人	1,458人	1,851人	84.8%	96.3%	634人	725人	497人	709人	78.4%	97.8%	34.1%	38.3%
	前年同期比	▲106人	▲190人	-	▲128人	-	+2.1P	-	▲3人	-	+18人	-	+3.2P	-	+4.6P	-
短大	R8.3卒	247人	176人	-	141人	-	80.1%	-	101人	-	80人	-	79.2%	-	56.7%	-
	R7.3卒	313人	236人	221人	171人	217人	72.5%	98.2%	138人	139人	101人	139人	73.2%	100%	59.1%	64.1%
	前年同期比	▲66人	▲60人	-	▲30人	-	+7.6P	-	▲37人	-	▲21人	-	+6.0P	-	▲2.4P	-
公共職業能力開発施設	R8.3卒	143人	141人	-	133人	-	94.3%	-	106人	-	98人	-	92.5%	-	73.7%	-
	R7.3卒	162人	151人	149人	139人	148人	92.1%	99.3%	100人	102人	92人	101人	92.0%	99.0%	66.2%	68.2%
	前年同期比	▲19人	▲10人	-	▲6人	-	+2.2P	-	+6人	-	+6人	-	+0.5P	-	+7.5P	-
高専	R8.3卒	162人	83人	-	81人	-	97.6%	-	14人	-	14人	-	100%	-	17.3%	-
	R7.3卒	168人	88人	90人	87人	90人	98.9%	100%	9人	10人	9人	10人	100%	100%	10.3%	11.1%
	前年同期比	▲6人	▲5人	-	▲6人	-	▲1.3P	-	+5人	-	+5人	-	±0.0P	-	+7.0P	-
専修学校	R8.3卒	1,479人	1,314人	-	1,049人	-	79.8%	-	658人	-	529人	-	80.4%	-	50.4%	-
	R7.3卒	1,404人	1,358人	1,309人	1,043人	1,246人	76.8%	95.2%	691人	649人	514人	625人	74.4%	96.3%	49.3%	50.2%
	前年同期比	+75人	▲44人	-	+6人	-	+3.0P	-	▲33人	-	+15人	-	+6.0P	-	+1.1P	-

出典：岩手労働局公表資料

※確定値：高等学校は6月末（公表時期：7月末頃）、大学等は3月末（公表時期：4月末頃）